

中間バルクキャリア（IBC）への充填と空にする作業（粉体）

適用範囲

本対策シートは、リスクレベル 3 が適用されるときに使用する。

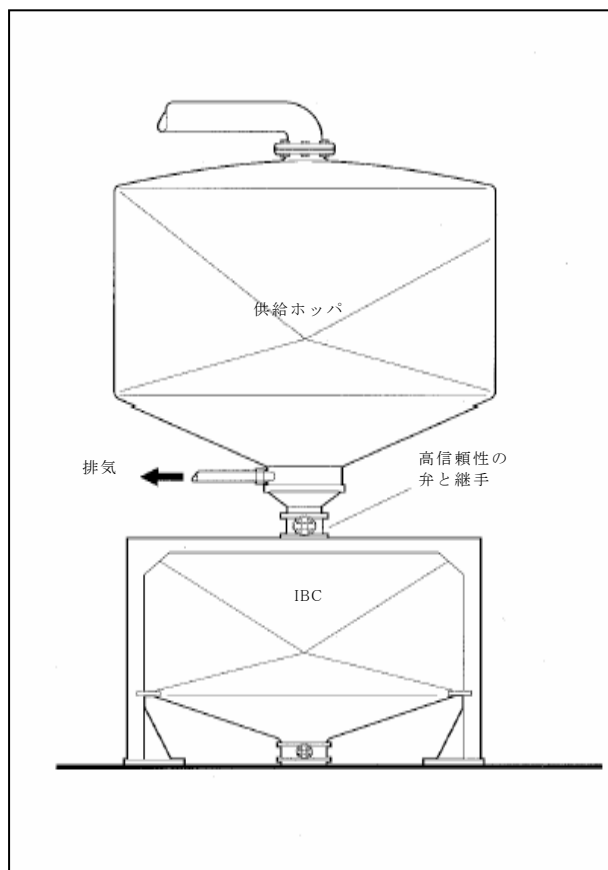
本対策シートは、中間バルクキャリア（IBC）に粉体を充填するときの好事例、空にするときの好事例、および化学物質のばく露を許容できる濃度まで低減するために必要な注意事項を示す。すべての好事例と注意事項に従うことが重要である。化学物質によっては引火性または腐食性があるので、これらの危険性に対しても適切な管理が必要である。詳細は、各化学物質の安全データシート（SDS）の注意事項を参照すること。

本対策シートは作業者の健康を守るための最低限の基準を示すが、工程管理またはその他のリスク管理に必要な基準より低い管理基準を正当化するために利用してはならない。

作業場

- 関係者以外を作業場に入れないようにし、風下で誰も作業していないことを確認すること。

設計と装置



- 中間バルクキャリア（IBC）の仕様が充填する原料に適しているか確認すること。
- 接続部に信頼性の高い弁と継手を使い、漏れがないか確認すること。
- ロードセルなどを使って、過充填を防ぐこと。
- 充填速度を別々に設定または制御する手段を用意すること。
- 中間バルクキャリア（IBC）に通気孔を設け、空気を供給タンクに戻すか、扉、窓、吸気口、および通路から離れた安全な場所に排出すること。
- フォークリフトの通り道を確認すること。
- 車両などが容器にぶつからないように障壁を設けること。
- 可燃性の粉体を扱う場合は、防爆措置の必要性を検討し、装置を適切に固定してアースを確実に取ること。

本シートは、ILO の著作物である「The Chemical Control Toolkit」について、厚生労働省が ILO より許諾を得て翻訳し、内容の改変を行ったものである。

原本： http://www.ilo.org/legacy/english/protection/safework/ctrl_banding/toolkit/icct/sheets/tcs-307.pdf

Original version of the International Chemical Control Toolkit Copyright © International Labour Organization.

Japanese translation Copyright © 2012 Chemical Hazards Control Division, Ministry of Health, Labour and Welfare.

The ILO shall not be responsible for the quality and accuracy of the translation.